

3年生、進路に向けて猛ダッシュ!

《就職ガイダンス》進路フェスタへ向けて

7月6日(月)就職希望者を中心に、農村環境改善センターで就職ガイダンスを行いました。東京の大原学園に依頼をし、マナー講師をお招きしてのガイダンスです。特に自己分析を元に自己PRにつなげ、最終的には志望の動機まで導くガイダンスと、実際の模擬面接を体験することで、進路フェスタでのバーチャル就職試験をより有意義にするのが目的でした。自己PR等は、日頃体験することができない内容であったため、生徒は戸惑いつつも少しずつ形にすることができました。6月の進路ガイダンスや、各クラスで礼法指導等を受けていましたが、話すときの態度で、注意を受けることも多かったようです。今までの様々な取組で、少しずつ進路意識も高まってきているようです。学ぶ姿勢をしっかりすれば、一歩また一歩と、より高いレベルを目指して自分を高めていくことができます。

《進路フェスタで再発見》就職仮想試験と学校別個別相談

7月8日(水)3学年全員が大型バス4台に分乗し、シーハットおおむらで「進路フェスタ」に参加しました。就職希望者は「就職仮想試験」に参加し、県内のいくつかの高校生と一緒に面接試験と筆記試験を受験しました。進学希望者は大学・短大・専門学校のブースで、選考方法・学費・卒業後の進路等を質問し「学校別個別相談」の時間を過ごしました。「就職仮想試験」を受験した生徒は「面接は緊張したけど、面接官から今の自分は何ができていないか適確なアドバイスをいただき参考になった。」と話していました。また、進学希望者が、希望する学校以外の似た学科を持つ学校のブースを回って比較検討していました。今回、進路フェスタに参加したことで、生徒一人一人がこれから夏休みに向けて自分がやるべき課題が再発見できて、素晴らしい体験をすることができました。

(3学年主任:平林 宏幸)

《進路講演会》これから取り組むべきことは?

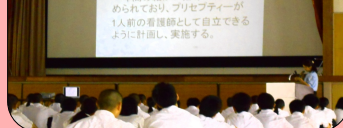
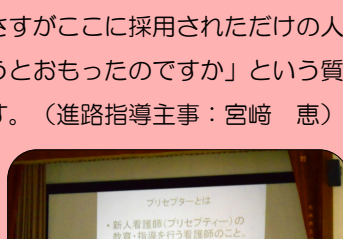
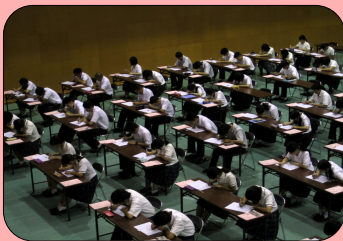
7月9日(木)全校生徒対象に進路講演会を実施しました。講師はベネッセコーポレーションの劉耕助氏でした。3年生は4月、1、2年生は6月に基礎学力診断テストと自己発見フォーカス・リサーチ等により、全国規模の学力判定と興味関心を持った事項の分析データを元に、自己分析を進め、より意識を高めた上で夏季休業に入ることが目的でした。会場は暑かったのですが、講師の熱い語り口と細かなデータ分析により、生徒も大変熱心に聞き入っていたのが印象的でした。学力到達度G T Zの値を用いた進路希望の可能性は大変分かりやすく、ベネッセは大変人気のある企業で、さすがここに採用されただけ的人物だなと思わせる講演会でした。質問コーナーでは、「どうしてベネッセに就職しようとおもったのですか」という質問が上がったほどでした。今回の進路講演会で得た知識を十分に活かすことを期待します。(進路指導主事:宮崎 恵)

《母の会進路講話》保護者の話を聞こう

7月15日(水)母の会より松永佐百様と中野佳代様を講師としてお招きし、講話を実施しました。中野様は、本当にやりたい仕事を見つける事が継続の秘訣と言われ、3C(チャンス・チャレンジ・チェンジ)の言葉をいただきました。松永様は、目標の人を見つけ、努力する事が向上心に繋がると言われました。最後に長く続けるには、規則正しい生活をし、健康第一に過ごし、小さな目標をつくり楽しむ事が大切であると話されました。実践に基づいた言葉でした。



(進路指導主事:宮崎 恵)



(2学年主任:今村 勲)



〈校訓〉 自律・積極・究理

波高通信



〈スローガン〉「チーム波佐見」~常に前進 常に一歩~

第16号 平成27年7月22日発行

校長室より

「履歴書を書く」ということ



5月下旬から6月下旬にかけて3年生全員と面談を行いました。一人あたり5分という短い時間でしたが、一人一人が本校で学んだことや進路への思いを熱く語ってくれました。特に、面談中の皆さんの笑顔が印象に残っています。高校生活を楽しみ、将来への夢と希望にあふれたまぶしい笑顔でした。既に7月1日から求人票受付が始まっています。また、各大学・専門学校のオープンスクールも随時開催されています。3年生にとって夏休みは、自分の目指す進路を決め、その実現に向けて準備をする期間です。暑さよりも、もっと熱い戦いが始まります。目の前の課題から逃げることなく、正面から立ち向かってください。1、2年生も「進路についてはまだまだ先のことだ」と考えず、進路の方向性を決める夏休みにして欲しいと思います。

就職試験を受ける際、必ず提出しなければならないのが「履歴書」です。「履歴書」は、学歴や資格、志望の動機など皆さんの状況を記したもので、**あなた自身のことを会社に知ってもらうための大切な書類です。**選考試験を行う会社側にとっては、極めて重要な選考資料となります。したがって、皆さんが書く「履歴書」は、会社の人事担当者に、「早くその生徒に会ってみたい」「どんな生徒か楽しみだ」と思ってもらえるもの、皆さんのよさがにじみ出てくるようなものでなければなりません。自分自身のいい面がたくさんにじみ出るような魅力ある履歴書を書くためには、**今の波高生活一日一日の積み重ねが重要になってきます。**学校を一日も休まない。資格取得に向け死に物狂いで頑張る。練習の辛さに耐え部活動をやり抜くなど、高校3年間に歯を食いしばって頑張った経験とその実績があつてこそ、就職活動を始めたとき魅力ある履歴書が書けるのです。それまでに積み重ねられた努力の一つ一つを1枚の紙にしたためたもの。それが「あなたの履歴書」なのです。「履歴書を書く」ということは、出願直前に実際に鉛筆を持って書くということではなく、毎日の学校生活を通して履歴書をかいているということなのです。流した汗の分だけ、あなたの履歴書にそのことがにじみ出てくるのです。

さて、いよいよ長い夏休みです。この夏の皆さんの熱い取組や経験が、履歴書に記される魅力的な一行となることを期待します。「汗をもて するよりほかは なかりけり」(高浜虚子) (野田定延)

DV防止講話

対等な人間関係をつくるために!

7月15日(水)1学年の生徒を対象に、NPO法人『DV防止ながさき』から大川内紀美子先生と小倉萬智子先生のお二人をお招きしてDV(ドメスティックバイオレンス)防止授業を行いました。「対等な関係をつくるために」というテーマのもと、「DV」や「デートDV」とはどのようなものなのか、また、DV被害にあったら時はどうしたらいいのか、男女間の対等な関係作りとはどのようなものなのか、等についてロールプレイングや演習を取り入れながら話をさせていただきました。

この授業を通して、**相手を思いやる気持ちやコミュニケーションの大切さ**など、自分自身の意識を高めるいい機会となりました。



(1学年主任 川内英樹)

生徒総会

思いやりの輪でつなごう！

6月24日(水)に生徒総会が開催されました。各種委員会の年間活動方針や予算案の審議、昨年度の生徒会活動や決算の報告、各学級からの提案に対する回答など、様々なことが話し合われました。また今年度の**生徒会スローガン「チーム波佐見～思いやりの輪でつなごう～」**も発表されました。このスローガンには、波佐見高校の生徒一人ひとりが思いやりをもって行動し、学年・学級関係なくつながりをもってほしいという願いが込められています。

最後には「規範意識の向上」「いじめ根絶」の宣言もなされ、今一度学校生活を振り返る良い機会になりました。これからも快適な学校生活が送れるよう、積極的に意見を出し合い、一人一人が他を思いやる気持ちを忘れず過ごしてほしいと思います



(生徒会主任 重松聡美)

野球部推戴式を開催

”心”一つに甲子園

7月7日(火)平成27年度(第97回)全国高等学校野球選手権長崎大会の推戴式が開催されました。吹奏楽部の演奏の中、野球部員全員が堂々と入場行進を行いました。校長先生からは野球部へ「**一球執念～波佐見の夏“心”一つに甲子園～**」というスローガンが贈られました。「**一球執念**」には試合中の、その瞬間の、その一球に、これまで練習してきた全てをぶつけてほしいという思いが、また「**波佐見の夏“心”一つに甲子園**」には選手の皆さん並びに皆さんを支えている全ての人たちの心一つにして大会に臨もう、夢を実現しようという思いが込められています。野球部主将の福田恵祐くんは「**きつい練習を乗り越えてきたことを自信に変え、自分たちができる最高のプレーをしたい**と思います。」と力強く決意表明を行いました。またPTA会長山口様を始め、後援会や母の会の皆様からも激励の言葉をいただきました。PTAの皆様とサッカー部の熱いエール、また後援会や全校生徒の声援を受け、**野球部一同「甲子園に向けて全力で頑張る力ももらいました。試合に勝って恩返ししたいです。」**と話していました。これから厳しい戦いが続きますが、笑顔で試合に臨み、精一杯力を出し切ってほしいと思います。(生徒会主任 重松聡美)



現在ベスト8 7/23(木)全校応援!

波佐見高校野球部の勢いが止まらない。嬉しい悲鳴です。7月10日(金)の開会式での元気満ちた行進を自信に、1回戦の上五島戦を2対1で制し、続く2回戦では、強豪諫早高校を倒して勢いに乗る吉岐高校を10対0の5回コールドで破り、ベスト8決めでは、小雨降る中、強豪瓊浦高校相手に素晴らしい試合を展開しました。先発春田が二回に5連打を浴びて3失点した後は、散発3安打に抑えて追加点を許しませんでした。波佐見は三回、平野の適時打で1点を返し、六、八回に福田恵が適時打を放って同点、なおも2死満塁から2連続死球で2点差をつけて**逆転勝ちしました。**

準々決勝は7月23日(木)の10時から長崎県営野球場(ビッグN)で、昨夏、延長再試合の激闘を演じた創成館と対戦します。特に3年生は**最後の夏にリベンジを果たしてもらいたい。全校で、全力で、吹奏楽とともに応援します。プレー、プレー波佐見!**



(教頭 小柳勝彦)

AFS交換留学生 ソンドレ・フロヴィックです

こんにちは。私の名前は、ソンドレ・フロヴィックです。ノルウエー出身で、現在交換留学生として波佐見高校に来ています。知らないことばかりで、毎日できるだけ多くのことを学ぼうと一生懸命取り組んでいます。新しい言語や文化を学ぶことは、とても難しいことです。しかし、皆さんが手助けしてくれるので、少しずつ慣れてきました。**これまでに私を助けてくれた波佐見高校の皆さんに、とても感謝しています。**これからも一緒に過ごし、学んでいくのがとても楽しみです。またノルウエーに関して、何か質問があったら、どんどん聞きに来てください。



(2年3組担任 永瀬 諒)

美術系進学講話

7月4日(土)福岡県の大橋美術研究所(美術予備校)の玉川先生をお招きし、美術系進学についての講話を行いました。当日は、美術・工芸科1・2年生と保護者、美術に興味のある中学生と保護者、中学校の美術教諭、佐世保地区の美大希望の高校生と保護者など、**総勢85名が参加しました。**講演会場には美術大学入試の参考作品の展示もあり、レベルの高い作品を目の前に、多くの方が立ち止まって作品に見入る姿が見られました。講演内容は、現在の美術系大学の成り立ちや状況など、40年以上予備校で生徒を指導されている方ならではの話でした。生徒や保護者にとっては、美術系進学への進路選択の参考になったと思います。少々専門的な内容であったため、生徒たちが理解できるかどうか心配でしたが、メモをとりながら真剣な表情で話に聞き入る生徒や保護者も見られました。**2年生は、進路決定まで1年あまりとなります。この講演会をきっかけに、自分自身の進路を考えてくれることを願っています。**



(美術・工芸科主任 岩永聡志)

防犯対策講話

護身術演習!!

7月2日(木)に川棚警察署生活安全課の方々を招き、本校体育館で講話と演習をしていただきました。女子生徒を対象に実施し、講話では、実例や危険性について話され、生徒は真剣に耳を傾けていました。演習では生徒が2人組になり、相手から手首を掴まれた場合や後ろから襲われた場合の対処法について学びました。生徒にとって慣れない動きも多くありましたが、成功すると笑顔が見られ、とても充実した時間を過ごすことができました。この講話と演習は、痴漢や変質者による事件が増える夏休み前に、生徒に注意を促すため、この時期に実施しています。講話では、**できるだけ1人で帰らない(とくに外が暗い時間帯)、携帯電話等を使用しながら歩くとき注意散漫になり危険、大声で助けを求め、護身術はあくまで一瞬の対処法のため、とにかく逃げることを考える、**生徒の皆さん自身でできることは実行し、身を守る意識を持つことで事件に巻き込まれる危険性を低くしましょう。



(生徒指導部 坂本史子)

8月の行事予定

8月26日(水)が始業式です!

8月 3日(月) HTBインターナショナル 報告会
8月 4日(火) 美術・工芸科ワークショップ
8月 9日(日) 登校日(平和学習)
8月 10日(月) 県高校音楽フェスティバル

8月17日(月) 面接練習会(～8/25)
8月20日(木) 第2回オープンスクール
8月26日(水) 始業式・大掃除・体育祭練習
8月27日(木) 波高チャレンジ

